

## 養老溪谷大福山山旅報告

(山 域) 房総 養老溪谷 (大福山)

(コース) 養老溪谷駅～大福山往復～養老溪谷温泉郷～養老溪谷駅

(日 時) 令和2年1月2日

(天 候) 晴れ

(参加者) 田中孝平 (単独)

(山行タイム) 養老溪谷駅 8:15～黒沼～女ヶ倉～大福山展望台～大福山 (白鳥神社) 10:00

(大休憩) 10:20～往路を下山～黒沼～養老溪谷温泉郷～養老溪谷駅 13:00

(山行報告) 日ごろの地元の忙しさから山が遠のくこの頃に、せめて日帰り位と地元市原の最高峰である大福山へ足慣らしと小湊鉄道が暮れの30日ようやく養老溪谷駅まで開通した情報に接し行くことを決めた。

歩いているうちに小学生のころから幾度も訪れた場所であるが、台風災害の後でもあり、倒木や斜面崩壊のツメアトが多く見られ、人も疎らで人が沢山訪れることはもう無いように思えるほど静かであった。

梅が瀬溪谷は入山禁止テープと看板が立てられ此処の復興は何時に成るかな? など考えながら歩いてきた。

帰路の途中で養老溪谷温泉郷に徐々に足を向けたが、温泉郷で盟主の様な存在と思っていた「〇風呂ホテル」が廃業したことは知っていたが、暫くぶり歩いてみると時の流れの感じざるを得ない想いが自らも含めて湧いてきた。列車待ちに駅前で一軒だけ営業している食堂でお酒を頂き、人の居ない駅から列車に乗り帰途についた。

【登山ルートの情報に載せるほどの内容でなく旅情だけ書いた文章であり、お許しを】



春の気配・・・  
花は我が郷の  
春を帰路に見  
つけた

